

2/22 年度

# 高齢者施設 職員が苦闘

マスク着用など 表情伝わらずケアの障害に ■ 感染防御で行動も制限

## 広島市の認知症グループホーム

新型コロナウイルスの感染拡大とともに各地の老人施設でクラスター（感染者集団）が起きています。施設を支える職員たちは、気が休まらない状況が続いています。

広島市内の認知症グループホームで、職員が常にフェイスマスクをつけて利用者に接している。感染者が出て一つのユニットが全員自宅待機になると、残り1ユニットで夜勤を含めて2週間休みなしで勤務することになる



広島市内では一月に16件のクラスターが発生。うち介護事業所が25%、高齢者施設が13%でした。この施設では感染者が複数出たと言いま

この施設長は「職員から新型コロナの陽性が1人でも出るとたんに施設が回らなくななる。認知症の利用者は言葉だけではコミュニケーションをとれないでの大変だ」

いしている。里帰りや会食もやめもらつている。人と会えない感じがある。それが一番つらい